

◇ 日本史

日 1-1～日 1-15 まで 15 ページあります。

第 1 問 日本古代の年号に関する次の文章 A～D を読み、下の問い(問 1～10)に答えなさい。

A 日本で最初に使用された年号は、中大兄皇子らが(ア)父子を滅ぼし、政治改革を実行に移した年に定められた大化とされるが、確実かつ継続的に使用され始めたのは、西暦701年にあたる文武天皇の時代の(イ)からである。この年号は、刑部親王や藤原不比等らによって完成した「(イ)律令」の名称にも冠されている。

問 1 空欄(ア)に入る人物の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

1

- ① 大伴旅人・家持 ② 蘇我蝦夷・入鹿
③ 藤原武智麻呂・仲麻呂 ④ 物部尾輿・守屋

問 2 空欄(イ)に入る年号として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

2

- ① 弘仁 ② 貞観 ③ 大宝 ④ 養老

B 皇族の(ウ)が自殺させられた事件の後、年号は天平と改められた。12年後の天平13年、(1)聖武天皇は詔を出して、諸国に国分寺・国分尼寺を建立させた。この天平の年号は長く続いたが、天平21年に天平感宝、天平勝宝と改元され、聖武天皇が譲位して、(エ)天皇が即位した。

問3 空欄(ウ)に入る人物として正しい人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号

- ① 大友皇子 ② 舎人親王 ③ 長屋王 ④ 山背大兄王

問4 下線部(1)聖武天皇に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 母親の光明子とともに政治を行った。
② 唐から帰国した阿倍仲麻呂を重く用いた。
③ 恭仁京・難波宮など、都を次々と移した。
④ 大仏造立の詔を出し、大仏開眼供養には天皇として臨席した。

問5 空欄(エ)に入る天皇として正しい人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号

- ① 皇極 ② 孝謙 ③ 光仁 ④ 推古

C 西暦782年にあたる年、年号は(2)延暦と改められた。時の天皇は(オ)天皇である。806年に(オ)天皇が亡くなった後、大同という年号に改められるまで、この(3)延暦という年号は足かけ25年にわたって続いた。この間、都は平城京から長岡京を経て平安京へと遷った。

問6 下線部(2)に関連して、この年号を冠した寺院を建立した僧侶が開いた仏教の宗派として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 華嚴宗 ② 真言宗 ③ 天台宗 ④ 臨済宗

問7 空欄(オ)に入る天皇として正しい人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号

- ① 宇多 ② 桓武 ③ 嵯峨 ④ 平城

問8 下線部(3)に関連して、延暦年間に起こったことがらについて述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 「徳政相論」と呼ばれる議論を経て、平安京造営と蝦夷との戦争が停止された。
② 征夷大將軍坂上田村麻呂が胆沢城を築き、多賀城から鎮守府を移した。
③ 諸国の軍団と兵士を廃止して、健児の制を採った。
④ 「阿衡の紛議」と呼ばれる事件が起こり、関白の政治的地位が確立した。

D 西暦1068年、時の摂政・関白を外戚としない後三条天皇が即位した。翌年、治暦から(カ)へと改元され、この年、後三条天皇は(カ)の荘園整理令を出した。そして中央には記録荘園券契所を設けて、年代の新しい荘園や書類不備の荘園など、基準にあわない荘園を停止した。また、後三条天皇は、(カ)4年には枳の大きさを一定に定めた。この(キ)枳は、太閤検地まで京都を中心に広く使用された。

問9 空欄(カ)に入る年号として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 延喜 ② 延久 ③ 寛徳 ④ 保元

問10 空欄(キ)に入る語句として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 京 ② 宣旨 ③ 勅旨 ④ 奈良

第2問 中世社会に関して述べた次の文章A～Eを読み、下の問い(問1～15)に答えなさい。

A 院政期には、絵巻物が発展した。院政期の代表的な作品として、擬人化された動物の姿をかりて上級貴族や僧を風刺した『鳥獣戯画』や、応天門の変を題材とし、平安京の姿を写實的に伝える(ア)などがあげられる。

また、鎌倉時代に制作された絵巻物では、高僧が取り上げられた絵巻物が制作された。とりわけ(イ)福岡と(ウ)伴野の両市が描かれていることで知られる『一遍上人絵伝』は、鎌倉時代の社会を知る上で貴重な絵画資料である。また、武士の日常や戦闘の様子などを知ることができる絵巻物としては、『男衾三郎絵巻』や(1)『蒙古襲来絵巻』がある。

問1 空欄(ア)に入る作品名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 『信貴山縁起絵巻』 ② 『源氏物語絵巻』
③ 『伴大納言絵巻』 ④ 『石山寺縁起絵巻』

問2 空欄(イ)(ウ)に入る旧国名の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① イ)尾張国 ウ)備前国 ② イ)備前国 ウ)信濃国
③ イ)信濃国 ウ)筑前国 ④ イ)筑前国 ウ)尾張国

問3 下線部(1)に関連して、『蒙古襲来絵巻』に描かれている内容について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 『蒙古襲来絵巻』の主人公は、竹崎季長という御家人である。
② 幕府が博多湾岸に造らせた石塁を確認することができる。
③ モンゴル軍は、火薬を使った武器で幕府軍を苦しめている。
④ 幕府軍は、上陸したモンゴル軍を集団戦法で撃退している。

B 執権政治とは、執権・(2)連署を北条氏が独占して主導権を確保し、有力御家人らの合議に基づいて政治を運営する体制をいう。(3)北条時頼が執権の時代に北条氏の地位はさらに安定した。一方で時頼の時代には、(4)北条氏による専制の傾向が強まった。

問4 下線部(2)に関連して、執権の補佐役である連署に初めて任じられた人物として正しい人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号

- ① 北条実時 ② 北条高時 ③ 北条時房 ④ 北条時宗

問5 下線部(3)に関連して、北条時頼が執権の時代の政策や出来事について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 天竜寺の建築費をまかなうため中国へ貿易船を派遣した。
② 訴訟機関として引付を設けた。
③ 宝治合戦が起こり、有力御家人三浦泰村一族が滅んだ。
④ 後嵯峨上皇の皇子宗尊親王を将軍に迎えた。

問6 下線部(4)に関連して、幕府の実権が北条氏の家督に帰することで北条氏の専制が進んだが、その北条氏の家督の呼称として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 管領 ② 得宗 ③ 内臣 ④ 御内

C 南北朝の動乱期とは、入京した足利尊氏が持明院統の(エ)天皇を立てたのに対して、大覚寺統の後醍醐天皇が吉野の山中に逃れて皇位の正統性を主張するようになった1336年から、(オ)によって南北朝の合体が実現する1392年までをさす。この時期には、政治だけでなく、(5)社会や経済の分野においても大きな変動が生じた。

問7 空欄(エ)に入る天皇として正しい人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号

- ① 光明 ② 後陽成 ③ 仲恭 ④ 伏見

問8 空欄(オ)に入る人物として最も適当な人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号

- ① 足利直義 ② 足利義満 ③ 北畠親房 ④ 夢窓疎石

問9 下線部(5)に関連して、南北朝の動乱期における社会・経済について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 惣村と呼ばれる自治的な村が、各地に広がった。
② 座と呼ばれる定期市が広く各地に生まれ、開かれる日数も増加した。
③ 『清良記』などの農書の普及により、農業生産力が上昇した。
④ 武士団においては、地縁よりも血縁が重視されるようになった。

D 中世において一揆とは、神に誓って団結することや団結した集団のことを意味した。(6)室町時代にはさまざまな一揆が形成されたが、(7)仏教信者による一揆は自治を実現することもあった。

問10 下線部(6)に関連して、『大乘院日記目録』に「日本開白(關)以来、土民蜂起是れ初めなり」と記される一揆が起こった年(年号表記)として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 永仁5年 ② 嘉吉元年 ③ 正長元年 ④ 文明17年

問11 下線部(7)に関連して、各地に一向一揆が形成される契機の一つとなった、講や御文による布教によって一向宗信者の増大に成功した僧侶として最も適当な人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号

- ① 覚如 ② 親鸞 ③ 日親 ④ 蓮如

問12 下線部(7)に関連して、一向宗の人びとが守護大名を倒して約100年にわたる自治を行った地域を現在の府県名で表示した場合に最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 石川県 ② 京都府 ③ 兵庫県 ④ 三重県

E (8)1467年に応仁の乱が起こると、足利将軍は権力を失い、京都を中心とするわずかな地域だけを支配するだけになった。応仁の乱以後の時代を戦国時代と呼ぶ。この時期、各地に(9)戦国大名が登場したが、その中には(10)守護大名から成長して戦国大名となる者がいる一方で、下剋上の風潮の中で守護大名を倒して実権を握り、戦国大名に成長する者もあった。

問13 下線部(8)に関連して、応仁の乱が起こった時の室町幕府将軍として正しい人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号

- ① 足利義昭 ② 足利義尚 ③ 足利義政 ④ 足利義視

問14 下線部(9)に関連して、戦国大名の政策について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 領国支配の基本法である分国法を制定する戦国大名もあった。
② 家臣の収入を銭に換算した石高という基準で統一的に把握しようとする戦国大名もあった。
③ 家臣の主な者たちや領国内の商工業者を城下町に集住させようとした戦国大名もあった。
④ 領国内の鉱山を開発したり、大河川の治水・灌漑事業などを行う戦国大名もあった。

問15 下線部(10)のように、守護大名から戦国大名へと成長した戦国大名の事例として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 島津氏 ② 長宗我部氏 ③ 北条(後北条)氏 ④ 毛利氏

第3問 江戸時代について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～15)に答えなさい。

A 江戸幕府はその組織を整備するとともに、大名や朝廷、寺社などを統制する仕組みを作っていた。将軍の下で幕政を統括したのは老中であった。大老もあったが常設の職ではなかった。譜代大名から選ばれた数名の(ア)が老中を補佐し、また旗本・御家人の監察・統制を担当した。他に(1)三奉行などが設けられ、地方には京都所司代をはじめ城代などをおき、直轄領には郡代や代官を配置した。

また、武家に対しては(2)武家諸法度を、朝廷や公家に対しては(3)禁中並公家諸法度を定めて統制を図った。(4)寺社に対しては寺院法度を出し、本末制度を整備させるなどして統制した。

問1 空欄(ア)に入る役職名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 大目付 ② 参議 ③ 奉公衆 ④ 若年寄

問2 下線部(1)に関連して、三奉行の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 遠国奉行・寺社奉行・町奉行 ② 遠国奉行・勘定奉行・寺社奉行
③ 勘定奉行・寺社奉行・町奉行 ④ 大坂町奉行・京都町奉行・江戸町奉行

問3 下線部(2)に関連して、武家諸法度は将軍の代替わり毎に発布されたが、その中で参勤交代を義務づける武家諸法度を初めて発した時の将軍として正しい人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号

- ① 徳川家光 ② 徳川綱吉 ③ 徳川秀忠 ④ 徳川吉宗

問4 下線部(3)禁中並公家諸法度の次の条文の空欄(イ)に入る語句として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

29

「天子諸芸能の事、第一(イ)也」

- ① 御学問 ② 御信仰 ③ 御武芸 ④ 御普請

問5 下線部(4)に関連して、寺社を含む宗教について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

30

- ① 幕府は宗門改を行い、人びとがいずれかの寺院の檀徒となることを強制した。
② 寺社への統制を大きな目的として、幕府は紫衣事件を起こした。
③ 幕府がスペイン船とポルトガル船の来航を禁止したことをきっかけに、島原の乱が起きた。
④ 幕府は、寺院法度に従わない寺院に対して、元和の大殉教と呼ばれる迫害を行った。

B 江戸時代には、幕府が街道や宿駅を整備し、参勤交代のための大名の往来や商品経済の発達などによって交通が発達した。陸上では江戸・日本橋を起点とする(5)五街道や脇街道が整備された。主要街道の宿場には、さまざまな宿泊施設や(6)飛脚のための施設が整備された。海上交通については、菱垣廻船や(7)樽廻船が就航し、また東廻り航路と西廻り航路が開かれた。こうした交通路を使って、江戸・京都・大坂の(8)三都には年貢やさまざまな商品が流れ込んで取り引きされた。そこでは蔵元や掛屋などの商人が台頭してきた。商品経済の発達とともに金融業も発達し、(9)貨幣制度も整備されていった。

問6 下線部(5)五街道に含まれないものはどれか、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 奥州道中 ② 北陸道 ③ 中山道 ④ 日光道中

問7 下線部(6)に関連して、公用の人馬の割り当てや、文書や荷物の継ぎ送りのための施設として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 一里塚 ② 関所 ③ 問屋場 ④ 旅籠

問8 下線部(7)樽廻船の就航した区間として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 蝦夷地—江戸 ② 薩摩—江戸 ③ 江戸—大坂 ④ 大坂—敦賀

問9 下線部(8)三都について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 京都の二十四組問屋や大坂の十組問屋が流通の独占を目指して組織された。
② 18世紀前半、江戸の人口は、町人・武家・寺社を合わせて約500万人にまで達したと推定されている。
③ 江戸では、堂島の米市場が繁栄した。
④ 年貢米・国産物販売のために置かれた蔵屋敷の数は、大坂が最も多かった。

問10 下線部(9)に関連して、江戸幕府によって発行された貨幣として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

35

- ① 永楽通宝 ② 乾元大宝 ③ 天正大判 ④ 丁銀

C 19世紀の後半に入ると、江戸幕府の支配は急速に揺らいでいった。欧米列強が東アジアに進出する中、ついに幕府は(10)日米和親条約に調印し、開国した。さらに(11)日米修好通商条約が結ばれ、その後、米国(アメリカ)以外のヨーロッパ諸国とも同じような条約を締結した。この結果、(12)貿易が急速に拡大していった。経済の変動とともに(13)幕府の支配体制が崩壊する動乱の時代となった。そして1867年、(14)大政奉還が行われ、徳川氏による江戸幕府の時代が終わった。

問11 下線部(10)日米和親条約によって開港した場所の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 神奈川・長崎 ② 下田・箱館 ③ 新潟・兵庫 ④ 箱館・横浜

問12 下線部(11)に関連して、日米修好通商条約が締結されたのと同じ年、アメリカに続けて同様の条約を結んだ4カ国に含まれない国を、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① イギリス ② オランダ ③ フランス
④ ポルトガル ⑤ ロシア

問13 下線部(12)に関連して、この時期の日本からの輸出品として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 海産物 ② 生糸 ③ 茶 ④ 綿織物

問14 下線部(13)に関連して、幕末の動乱の時期について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

解答番号

- ① 長州藩では、高杉晋作や木戸孝允らが主導して、洋式軍備による軍制改革を進めた。
② 大老井伊直弼は、長州藩の浪士によって坂下門外で暗殺された。
③ 薩摩と長州の両藩は、坂本龍馬と中岡慎太郎の仲介で薩長同盟を結んだ。
④ この時期、世直し一揆や「ええじゃないか」の集団乱舞が頻発した。

問15 下線部(14)に関連して、大政奉還を行い、江戸幕府最後の将軍となった人物として正しい人物を、次の①～④のうちから一人選びなさい。

解答番号

40

- ① 徳川家斉 ② 徳川家茂 ③ 徳川斉昭 ④ 徳川慶喜